

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：福岡

グループ： 1班

2020.10.25

ICTでツナグ

生活の変化

- ・ 活動制限によってモチベーションがさがる

ICT×コミュニケーション

- ・ ICTを利用して新しい人との交流

→モチベーションの維持

問題点①

ICTを利用できる学校とできない学校の格差

問題点②

人間関係の偏り

→距離感がつかめない

行政に求めること

- ・ ICT機器の配布
- ・ 通信環境の整備
- ・ オンライン集会所などの設置
→ 同じ趣味、共通の話題

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：福岡 グループ： 2班 2020.10.25

ICTによるメリットとデメリット その解決策

～Legend Of Presentation～
By us.

コミュニケーション面

メリット

- ・ 実際に出会わなければならないため、距離や時間に縛られず簡単にコミュニケーションをとることができる。
- ・ 世界中のいろいろな人と瞬時につながることができる。

コミュニケーション面

デメリット

- ・ 誹謗中傷が起こってしまう。
- ・ 言葉ひとつで人が傷ついてしまうことがある。

コミュニケーション面

考えられる原因

- ・ 気軽にコミュニケーションがとれる匿名性の裏目。
- ・ 感情的に書き込みをしてしまっている。
- ・ 対面でない故の感覚の違い。

コミュニケーション面

提言

コメントなどを投稿する前に、「本当に送ってもいいか？」という旨の確認画面を設定することを努力義務とする。

SNSの使い方について学べる場所や機会をつくる。

学業面

メリット

- ・ 場所や時間を問わずに自分のタイミングで授業動画を見ることができる。
- ・ どのぐらい勉強したかを記録することができる。

学業面

デメリット

- ・ 動画だけではわかりにくい部分もあり、オンラインでない場合質問などがしづらい。
- ・ 学校でするより理解度が落ちたり、進行が遅れたりしてしまう。
- ・ ICT機器を使いすぎてしまう。
- ・ 機器の所持や学校によって格差がある。

学業面

考えられる原因

- ・ 生徒と教員の距離がどうしても離れてしまう。
- ・ 今回の場合(コロナ禍における)は学校側の混乱もあった。

学業面

提言

タブレットを一人一台用意する。

学校で教科書を販売する代わりに、3年間分の教材や辞書の機能をまとめたタブレット機器を買ってもらい、緊急時のオンライン授業or動画配信をスムーズに行う。

各人の学習状況のチェックやテストの配信もできるようにする。

まとめ

コミュニケーション面

SNSアプリのさらなるシステム改善。

学習面

全国一律でタブレットの導入による各種問題や格差の改善。

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：福岡

グループ： 3班

2020.10.25

SNSと未来の展望

Studies

メリット

- ・ 先生の負担が減る
- ・ 学校に行かなくても簡単にできる
- ・ 効率よくできるため、趣味に時間を充てられる

デメリット

- ・ ネットのトラブル
- ・ ネット環境で差が出る
- ・ 遊ぶ人が出てきてやる人とやらない人との差が出る
- ・ その場で質問ができない
- ・ 私立と公立の差

Communication

メリット

- ・人と会えなくても会話をする
ことができる
- ・他国の人と交流することができ、
英語や文化を学ぶことができる
- ・SNSでの交流が増え、文面を意
識しながら話すことができる

デメリット

- ・SNS上でのトラブル
- ・交流が少ない
- ・顔がわからない

提言

- ・ ネット環境の整備→フリーWi-Fi
- ・ 一人一人の意識の向上

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：福岡

グループ： 4班

2020.10.25

コロナ禍での私たちのICT

1

	メリット	デメリット
学習面	<ul style="list-style-type: none">・自分の都合よく勉強ができる。・オンライン授業で先に進むことも復習も自分のペースで勉強できる。	<ul style="list-style-type: none">・義務じゃないので怠ける人がでてくる。・ZOOMを使ったオンライン授業では質問が難しい
コミュニケーション面	<ul style="list-style-type: none">・伝えたことが画面に残る・密にならない	<ul style="list-style-type: none">・言葉ではなく文で伝えるので伝えたいことが伝わらないことがある・情報リテラシーが備わってない人がいる

2 学習面

- ・ 毎朝オンラインで朝礼（出ていない人は欠席）
- ・ 質問コメントを匿名に
- ・ 情報リテラシーを身につけさせる
- ・ コメントを「ニコニコ動画」のように画面上に流す

3 コミュニケーション

- ・ 禁止ワードを運営ではなく自分で設定する

終

<ul style="list-style-type: none">・学習面	<ul style="list-style-type: none">・授業動画は作るが質問をできるようにする・学校ごとに使えるアプリを作り、だれが何をしたのか把握できるようにする
<ul style="list-style-type: none">・コミュニケーション面	<ul style="list-style-type: none">・モラル、リテラシーの認知

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：福岡

グループ：5班

2020.10.25

知る機会、使う機会、 慣れる機会

ICT機器について知る機会

	説明
現状「知らないこと」	ICTの活用法を知らない 家庭で地域でのICT機器の普及環境を把握できていない 情報格差の存在
提案「知るべきこと」	情報格差の実態を把握する

ICT機器について慣れる機会

	説明
現状「慣れていないこと」	ICT機械が使えない パソコンを使えない 人が少ない
提案「慣らすべきこと」	義務教育現場にICT 機器を取り入れる。

ICT機器について使う機会

	説明
現状「使う機会がない」	義務教育は紙を使うばかり。 小学校の先生や中学校の先生は
提案「使う機会を与える」	教員のICT技術の教育 義務教育現場での活用

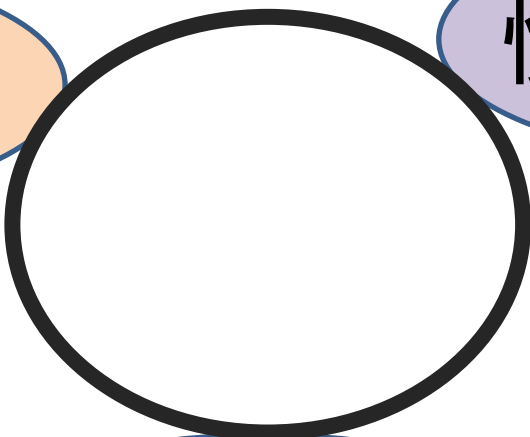
【提言】

知る機会、使う機会、
慣れる機会

【結論】

知る機会

慣れる機会



慣れる機会

つながっている

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：福岡

グループ： 6班

2020.10.25

安全安心なICT活用を目指して

学業の視点

メリット

普段話せない先生との交流・進路選択（時間の制限がない）

通学時間削減

授業の復習が容易

デメリット

集中しにくい、緊張感がない

通信環境の格差

発言・質問しにくい

改善策

少人数の授業にする

授業開始の通知

改善案を出せる機会を作る

通信環境の整備

コミュニケーション

メリット

普段できないことがSNSを利用してできるようになる。

相手のタイミングを気にせずに行動できる。

直接会うことの大切さを学ぶことができる

デメリット

文字だけでは気持ちが伝わらない

SNSでの犯罪被害のリスクが増える

（アカウント乗っ取り、詐欺）

ICT利用が難しい人もいる（高齢者等）

オンラインだからできること

オープンキャンパスやライブなどのイベントに気軽に参加できる。

遠くの人との関係性の構築・維持

改善策

- 絵文字などを利用し、感情表現を容易にする
- 大事なことは電話やボイスメッセージなどの音声で伝える
- 高齢者向けのICTの環境づくり（地域で講習会を開く）

提言

～ICTを安全安心に利用するために～

(個人)

利用規約や設定をよく確認する

(社会)

ICT環境を整備する省・庁に対して、改善案を提案する。

Ex.ICTに関する悩み・質問を募集する場の設置
学校でのICT授業を取り入れる

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：福岡

グループ： 7班

2020.10.25

withコロナの時代に 対応するには？

ICTには
様々なメリット

「例」

ズームによるオンライン
SNSでのコミュニケーション

しかし

課題

2つの格差

格差 1

勉強の定着度に個人差
ICT機器の整備が整っていない

格差 2

ICTの機器の利用による
疲労ストレスによる悪循環



SNSによるいじめの増加

解決策

課題とテストのオンライン化
「ClassiやTeams 等」

学校からのICT機器の貸し出し

解決策

財源の乏しい自治体や家庭に



国からの支援やローン

解決策

PCを使った授業を増やす



SNSへの理解やマナーを
身に着ける

私たちにできること

- 1 正しい情報を取捨選択する
- 2 日頃からSNSを正しく使う

ご清聴ありがとうございました

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：福岡

グループ： 8班

2020.10.25

新しい生活様式における 2つの提言

もっとICTにお金を使ってくれ！！

- 問題 1

友達とLINEや電話で勉強すると関係ない話になっちゃう！

- 問題 2

ネットで問題を調べると考えずにそのまま回答を写しちゃう！

- 問題1の解決！！

学校の先生を入れてクラスごとにZOOMで勉強会を開く

- 問題2の解決！！

分からなかった問題をみんなで考える時間を作ったり、先生に質問をする

政府に言いたい！！

みんながZOOMをつかえる環境を整えられるように国がもっとICTにお金をかけてくれ！！

もっと整備強化してくれ！！

誹謗中傷がふえてきて、好きな芸能人が亡くなった

- 解決！

匿名化を無くす

コメントなどを国がチェック

CMを作る！

CMで伝えたいこと

- 匿名で発言しても、調べたら誰かわかる！
- ネットの怖さを知らせる

政府に言いたい！！

ネット上の法整備を強化してくれ！

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：福岡

グループ： 9班

2020.10.25

We want your help

アプリの活用のメリット

SNSでの情報交換

ZOOMオンライン授業

英語の翻訳アプリ

Youtubeでの解説動画

メモリの解決策

- 出れる時間帯で分けてグループ分け
- 使い方を分かりやすく
- 簡単かつ高性能

アプリの活用のデメリット

- オンライン授業にみんなが出そろわない
- アプリの設定が難しい
- オンライン授業での発言がしにくい
- ネット環境が整っていない人やICT機器を持っていない人への配慮が難しい

コミュニケーションのメリット

- アプリを使えば離れていても話せる
- 画像・動画の共有
- スタンプ活用で感情を表せる

コミュニケーションのデメリット

- 高齢者は連絡が取りづらい

理由

機械を保有していない

機械の扱いが難しい

以上のことは私たちに
は解決できないので解
決をお願いします！！

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：福岡

グループ： 10班

2020.10.25

コロナ禍で思ったこと

コロナによって起きた体験

～コロナ前は～

- ・ 友達と簡単にコミュニケーションをとることは当たり前だった。
- ・ 部活で目的や目標があることでやる気があった。
- ・ 制限がなかった。

～コロナ後～

- ・ コミュニケーションの取り方が分からなくなった。
- ・ 目標などがなくなり、部活のやる気がなくなった。
- ・ 入学当初の新しい環境に慣れずらい。

学業の視点から

《提言》

一方的な授業でない、生徒が理解したことを確認できるICT活用を推奨します。

学業の視点から

《メリット》

- ・ 顔が見えないので緊張しない。
- ・ 場所、時間が関係ない。

《デメリット》

- ・ 質問が難しい。
- ・ テストの実施が困難。

解決策

- 要約文の作成→提出
- 授業内容に関する質問を加えて提出。

コミュニケーションなど

《提言》

誰にでもわかりやすいようなネット講習会を開く。
ネット犯罪防止に対する講習会を自治体で開く。

《ICT活用するメリット》

- ・ 自宅ワークを利用する
→ 障がい者雇用、女性進出

- ・ 高齢者
→ 遠距離での家族間の交流

《ICTを活用するときのデメリット》

- ・不特定の相手との請求面でのトラブル

解決策

- ・公式マークを作り、安全なサイトへの誘導
- ・ブラックリスト（フィルタリング）

ご清聴ありがとうございました

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：福岡

グループ： 11班

2020.10.25

～ICTと私たち～

勉強で使ったもの

- スマートフォン
- パソコン
- ZOOM
- YouTube

学力で便利な点

- いつでも見れること、
何回でも巻き戻しができる。
- 画面録画やスクリーンショットができる。
- 時間が有効活用できる。

不便な点

- 休校中において、友達と会えないこと。
- 生活習慣が乱れてしまう。
- ネット環境がないと授業が受けられない。
- 先生に分からない問題を質問することができない。

先生に分からない問題を
質問することができない

この問題をどう解決すべきか...

質問箱を作る！！

コミュニケーションでのメリット

- ・ ネットでゲームをしたり、情報を素早く大勢に伝達できる。
- ・ 新しいこと、一人の時間ができる

コミュニケーションでのデメリット

- 受け取り方の違い→トラブルが起きる
- 普段以上に送る文章にきをつけないといけない

受け取り方の違いの解決法

相手のことを考える。

絵文字など伝え方を考える。

内容によって伝え方を工夫する。

まとめ

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：福岡

グループ： 12班

2020.10.25

ICTと恋人になろう！！

学業(オンライン授業)

メリット

- 自分のペースで受けられる
- 分からないことがあるとすぐに調べられる
- YouTube等で配信されている動画

デメリット

- 人と話す場所がない
- 分からないことを先生に聞けない
- 先生のテンションが低い

オンライン授業時の生活リズム

良かったこと

- 睡眠時間が確保できた
- 自分自身が立てた計画で行動できる

悪かったこと

- 昼夜逆転
- 誘惑に負けてしまう
- 簡単にサボれる

提言

○少人数のタイムシフト制にする



質問しやすくなる

○学生掲示板を作る

○通信環境をよくする

○ZOOMなどのガイドライン

SNS

メリット

- 通話しながら友達と勉強
- ネット上で趣味の合う人と話せる
- コロナで会えなくても通話できる

デメリット

- 知らない人からのDM
- 詐欺の迷惑メール
- スマートフォン・ゲームのしすぎ

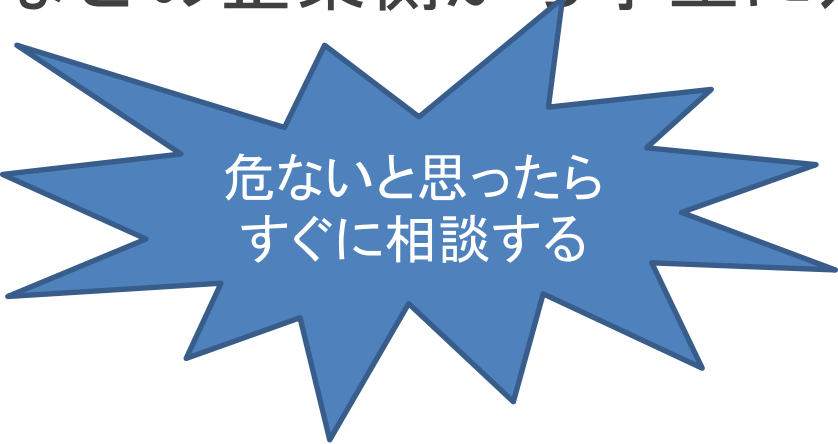
提言

○授業でSNSトラブルについて扱う



学生の意識が上がる

○ツイッターなどの企業側から学生に対して制限を作る



危ないと思ったら
すぐに相談する

個人のゲーム機器の利用時間を制限する

1 学生のゲーム利用時間の統計を取る

2 使用時間の基準を決める

3 目安以下 ⇒ ごほうび

目安以上 ⇒ なし

or

制限をかける

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：福岡

グループ： 13班

2020.10.25

ICTを上手く活用するには

学業

メリット

- ・ 何回でも視聴できる
- ・ 個人にあった講義を受けられる
- ・ 小テストの結果がすぐわかる
- ・ クラッシーで自分の学習量をまとめられる
- ・ どんな人でも簡単に講義を受けられる

デメリット

- 分からないところをすぐに質問できない
- 使用方法が分かりづらい
- 回線や容量に個人差がある

提言したいこと

①分からないところをすぐに質問できない



・ Google formで質問箱を設置してその問題についての解説を行う

②使用方法が分かりづらい



- ・ 学校側にPCの使い方の講義を行ってもらおう

③容量や通信に個人差がある



- 学校側が通信容量を生徒に配布する
- 国側が通信容量の配布とサーバー強化
- 学生の為のプランを作る

例)授業で使用する通信容量の無償化

コミュニケーション

メリット

- ・ たくさんの情報に触れられるので価値観が広がる
- ・ ZOOMなどを使えば学業の際に活用しやすい
- ・ たくさんの人と交流ができるので友達を作ることができる

デメリット

- ・ 携帯やPCを持ってない人がいる(いじめにつながる)
- ・ SNS上でのいじめや匿名の書き込みによる中傷や炎上
- ・ 犯罪に巻き込まれる恐れがある

提言したいこと

①携帯やPCを持ってない人がいる

- ・国が学校用タブレットを配布してSNSも利用できるようにする

② SNS上でのいじめや匿名の書き込みによる中傷や炎上

- ・ 国が法で裁く
- ・ 国が匿名での質問する制度をなくす
- ・ 学校側がSNSにおけるモラルやマナーを活用できるように教育を行う

③犯罪に巻き込まれる恐れがある

- ・ その情報が正しいのかどうかを同じ情報、関連した情報を自分達がもっと詳しく調べる

まとめ

- ・ 携帯を持っていない人に国からタブレット等を配布し日常でも利用できるようにしてほしい
- ・ その情報が正しいのか踏みとどまって判断する